

令和7年度予算をこう評価する

3月14日の本会議において、令和7年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

区民とともに荒川区の未来へ
つなぐ予算となるよう、一層
の努力を強く要望し、賛成
自 民 党



令和7年度予算の編成に先立ち、我が会派は400を超える事項について積極的に推進するよう予算要望書を提出した。本予算案では、物価高騰に直面する子育て家庭への支援を始め、区民の安全・安心を守る取り組み、教育環境の整備や産業・観光振興、地域の活性化に資する取り組み、魅力ある街づくりなど、数多くの分野で適切に予算化されている。区が抱える様々な諸課題に対し、区民目線、現場目線で果敢に取り組まれた結果であると認識しており、改めて滝口区長及び区当局の努力を評価する。

我が会派は、執行機関のチェック機能を担う立場から区当局と適切な緊張関係を保ち、区政の発展のために具体的な政策提言を行っていく姿勢で予算に関する特別委員会に臨んだ。

教育費無償化の推進については、我が会派の緊急要望を受け止め、一部の補助教材や修学旅行等の行事、卒業アルバム等の無償化をし、保護者の経済的負担軽減と、子どもたちの健やかな成長を支援する区の姿勢を高く評価する。



▲卒業アルバム等の無償化

物価高騰対策では、公衆浴場燃料費助成や省エネ家電助成、経済緊急対応融資等が継続して予算化されており、高く評価する。

福祉の分野では、区民の健康寿命を延ばすのに欠かせないフレイル予防の施策が盛り込まれた。健康づくりのプログラムを充実させ、柔道

整復師会と連携した講座の検討を要望する。

子育て分野では、にこにこすくーるの朝時間の本格実施など、子どもたちの健やかな成長の実現に向けた事業が着実に展開されることを確認した。東京すくわくプログラム推進事業については、区独自プログラムの実施を期待する。

環境分野では、プラスチック分別回収の本格実施への取り組み、資源収集車両の確保、作業効率化に向けたDXの検討等について確認した。

防犯対策の分野では、ネットワーク化された防犯カメラのAI機能について、認知症高齢者の捜索への活用や外部機関と連携を図る際の情報提供のルールづくりの必要性を提案した。

観光・産業振興の分野では区の資源を活用した地域経済の活性化や観光プロモーションの推進、マル経融資の利子補助の新規実施、街づくりの分野では公園の遊び場の拡充、マンション防災対策の推進など、我が会派の要望を受け止め、適切に予算に反映されたことを感謝する。その他にも数多くの質疑や提案をした。

将来の財政見直しを適切に把握し、必要な行政サービスをしっかりと提供できるよう計画的な財政運営を求める。加えて的確な行政評価等を継続的に実施し、数値を伴った具体的な成果を財政フレームに織り込むよう要望する。

予算執行にあたっては、区民とともに荒川区の未来へつなぐ予算となるよう、より一層の努力を強く要望し、予算案に賛成の討論とする。



とうきょうすくわく
プログラムロゴ

わくわくする荒川区の街づくりに向け、より一層の努力をするよう要望し、賛成

公明党



我が会派は167項目にわたる令和7年度予算に関する要望書を滝口区長に提出した。この度の予算案は、我が会派が強く求めてきた学校教育費の保護者負担軽減、小児及び高齢者インフルエンザ予防接種の無償化など、物価高騰に直面する区民への支援や安心・安全を守る取り組みに予算が重点的に取り入れられ、限りある財源を効果的に配分したものと評価している。

予算に関する特別委員会において、福祉・健康の分野では生理の貧困問題、地域コミュニティの分野では町会自治会のデジタル化、災害対策の分野では完全循環型トイレの設置、子どもや子育て世帯に対する支援ではフリースクール、

ヤングケアラー、産後ケアなど重要な3つの支援について、環境の分野ではゼロカーボンシティに向けたごみ集積所の柔軟な配置検討、その他にも公共施設LED化に係る区の整備方針や環境教育など、各分野で質疑・要望を行った。

いずれも早急に検討すべき重要課題であり、今後の予算執行等に十分に反映し、国や都の財源を最大限に活用してほしい。区民が大きな希望を持ち、未来へつなぐ予算として、わくわくする荒川区の街づくりに向け、より一層の努力をするよう要望し、予算案に賛成の討論とする。



完全循環型トイレの設置を提案

戦略的かつ機動的な予算執行に当たるよう期待し、賛成

ゆいの会 (都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属)



本予算案が区民や我が会派の要望に対応しているのか、行財政運営の在り方や区財政の持続可能性はどうなのかといった視点に立ち、予算に関する特別委員会で質問や要望を行った。

総務費では、各種SNSを用いた広報活動や情報に対する区民ニーズの把握、特殊詐欺への対応等について確認した。民生費では、高額療養費の失業時減免や新年度の国民健康保険料負担、子育て教育事業に対する都の助成制度の継続等について確認した。衛生費、以下各款については、飼い主のいない猫の譲渡費用への助成や、不妊治療への区独自助成、産院の無痛分娩体制、預託金の意義、緑被率の向上等について

質疑を行った。我が会派の意見や要望に対し、概ね前向きな答弁があったと認識している。

滝口区長は昨年11月の就任後の限られた時間の中で、区民に求められているものは何なのか、各会派の要望も踏まえ、庁内で議論を重ね、本予算案を編成したと理解している。我が会派においても、195項目に及ぶ予算要望書を提出し、その要望が随所に盛り込まれていた。

将来の財政需要への備えを行い、必要な施策について、戦略的かつ機動的な予算執行に当たるよう期待し、予算案に賛成の討論とする。



自動通話録音機チラシ (区内在住60歳以上は無料で設置可能)

物価高騰対策など
暮らし最優先を求め、反対

共 産 党



区立小中学校教材費等の無償化など、長年の区民要望が実現したことは評価するが、区財政運営の基本はこれまでと変わっていない。

第1に、財政運営の在り方の見直しが無い。本庁舎の建て替え基金の積み増しなど、基本は10年間で2倍。暮らし応援を最優先すること。

第2に、暮らし応援・物価高騰対策が不十分である。我が会派の予算組み替え動議は、エアコン購入助成、奨学金返済支援等を盛り込み、予算全体の2パーセントで組み替え可能である。

第3に、区民サービスの民間委託路線と定数管理を見直し、区の責任で公共福祉を再構築する方向に切り替える姿勢が打ち出せていない。

第4に、大規模駅前再開発と防災安心の街づくりの予算が違いすぎる。家賃補助拡充の検討や地域公共交通再構築の具体化提案が無かった。

第5に、区政の区民参画が遅れている。事業提案型制度の創設、区民参加型予算の確保の区長公約について、今後の取り組みを要望する。

最後に、教育委員会の責務は教育条件と環境整備である。教員が授業と子どもに向き合える時間の保障のため、力を尽くす必要がある。

以上、区政運営抜本的な転換を求め、予算案に反対の討論とする。



◀ 区民参画に関する
今後の取り組みを要望

採 択 さ れ た 陳 情

採
択

令和6年度第6号陳情

尾久生活実習所保護者会から要望した2件の促進に関する陳情

～ 請 願 及 び 陳 情 審 査 の 流 れ ～

提出方法等の
詳細はこちらから▶



提出



受理



審査



議決



結果通知



荒川区議会に請願・陳情を提出します。いつでも提出可能です。



議長が受理し、審査を担当する委員会に付託されます。



付託された委員会慎重に審査が行われます。



委員会の審査結果を基に、本会議で議決が行われます。



議決後、提出者に結果通知があります。
(採択・不採択等)